



平成 26 年 1 月 10 日

各位

会社名 株式会社ディー・ディー・エス
代表者 代表取締役社長 三吉野 健滋
(東証マザーズ・コード番号 3782)
問合せ先 取締役管理担当 貞方 渉
電話番号 0 5 2 - 9 5 5 - 5 7 2 0
(URL <http://www.dds.co.jp>)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 25 年 11 月 8 日に公表した平成 25 年 12 月期通期（平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日）の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 12 月期通期業績予想（平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日）

〔連結〕

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	678	△70	△99	△183	—
今回修正予想 (B)	525	△230	△226	△308	
増減額 (B-A)	△153	△160	△127	△125	
増減率 (%)	—	—	—	—	
前期実績 (平成 25 年 12 月期)	628	35	58	△43	

〔個別〕

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	676	△27	△105	△144	—
今回修正予想 (B)	523	△133	△232	△269	
増減額 (B-A)	△153	△160	△127	△125	
増減率 (%)	—	—	—	—	
前期実績 (平成 25 年 12 月期)	629	36	△12	△114	

2. 業績予想の修正理由

売上については、①大手通信会社向け大規模導入案件が平成26年度にスリップしたことに加え、②従来の一括販売型のビジネスとして見込んでいた一部の案件が、平成26年度に本格展開予定の新しい月額課金型のビジネスモデル（クラウド型サービス）となったこと、③マイクロソフト社が「Windows XP」、「Windows Server 2003」のサポートをそれぞれ終了することに伴い、新製品への移行対応に迫られた顧客が弊社サービスの導入を見送ったこと、④当初見込んでいたマイナンバー対応での自治体向け大型案件が平成26年度に予算執行がずれこんだこと、など複数の要因が影響し、当初の見込みから153百万円減少する見通しとなりました。

販売管理費においては、上述した新しいビジネスモデルの平成26年度本格リリースに向けた研究開発費が当初の見込みより11百万円、営業活動の強化に伴い営業関連費用が3百万円増加しました。

また、年度末において当初の想定以上に円安が進行しドル高、ウォン高となった結果、32百万円の為替差益が出る見込みであります。

これらの結果、営業利益、経常利益、および当期純利益とも前回発表予想を下回ることが見込まれるため修正いたします。

また、連結業績予想の修正については、個別業績予想の修正の影響によるものであります。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであります。実際の業績等は様々な要因により上記数値と異なる場合があります。

3. 取締役報酬の減額について

平成 25 年 11 月 8 日業績予想の修正に続き、今回再度の業績修正になりました。事態の重要性に鑑み、以下の通り、取締役報酬を減額することにいたします。

当社 代表取締役社長	月額報酬の 50%	3 ヶ月間
当社 副社長兼バイオセキュリティ事業本部長	月額報酬の 30%	3 ヶ月間

以 上